

防火と救急

積雪や路面凍結に気をつけて！！

冬の気圧配置が強まり、積雪や路面凍結により滑って転倒したり、車で移動中に交通事故を起こすなど、救急出動が多くなる季節となりました。出かける際は次のことに注意し、意識することで事故を防ぎましょう。



■車で外出するとき

①アクセルやブレーキの具合をチェックする

周りに車がない状況で停止時からアクセルを踏み、どれくらいの強さでスリップするのか確認してみましょ。また、低速時から少し強めにブレーキを踏むとABS(アンチロック・ブレーキ・システム)の作動状況や制動距離が分かり、運転をする上での目安になります。

②車間距離を普段の2倍以上あげる

雪道では路面が滑り、思うように止まることができないため、いつもより車間距離を多めにとりましょ。追突された際に玉突き事故を防止する効果もあります。数台前の車の動きや信号の色を確認して、早めにブレーキを踏むように心掛けましょ。



③幹線道路を中心に走行する

できるだけ大通りを中心に走るようにしましょう。幹線道路の方が除雪や交通量により、雪が溶けていて走りやすいことが多いです。知らない道だとカーナビを使うことがありますが、細い路地の積雪情報までは教えてくれません。カーナビを過信せず、自分で安全な道を選ぶことを心がけましょ。

④フットブレーキとエンジンブレーキを使い分ける

雪道でのフットブレーキは、ゆっくりと優しく踏みましょ。特にABSが搭載されていない車は、フットブレーキを強く踏むと、タイヤがロックして滑る原因になります。また、エンジンブレーキを使用して速度を落としてからフットブレーキを使用すると、安全に止まることができますが、スピードが出た状態でエンジンブレーキを使用すると、急ブレーキと同じ状態になり、滑る原因になります。

スピードを出さない事が大前提ですが、フットブレーキとエンジンブレーキを上手に使い分けましょ。



⑤「急」のつく運転は避ける

急発進・急加速・急ハンドル・急ブレーキなど、「急」の付く運転は止めましょ。タイヤが滑ったりロックしたりしてスリップの原因となります。アクセルやブレーキは6分目を意識して、ゆっくりとした運転を心掛けましょ。



■徒歩で外出するとき

- 靴は滑りにくいものを選ぶ。
- 足元に十分気を配りゆっくりと歩く。
濡れているだけと思っても凍っている場合があります。
- 降雪後の数日間は、解けていない日陰の雪に注意する。
- 天候は事前に情報収集し残雪や凍結路面を避け、余裕を持って行動する。



【令和3年町内の火災等発生状況】

発生区分	11月中	累計
火災	建物	0 3
	車両	0 0
	林野	0 0
	その他	0 1
警戒出動	3	21
救急出動	140	1312
救助出動	1	12

図 益城西原消防署 ☎ 286-2119